

学校名 秩父市立大滝中学校  
所在地 秩父市大滝4058  
電話 0494-55-0010

## 1 本校の概要

本校は奥秩父の緑と清流に囲まれた、埼玉県唯一のへき地中学校である。全校生徒29名。

「ふるさとに学び、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」を目指す学校像とし、「思いやり日本一、全員が主役の大滝中学校」をスローガンに掲げ、日々の活動に取り組んでいる。

## 2 本校の実践の概要

### (1)「朝の読書」の実践(平成13年～)

「読書に親しみ、想像力や理解力を身につけ豊かな心を育む。他の学習や生活面で生かせるような集中力や根気を身につける。」を目標に取組を始めて5年。毎朝全校生徒教職員が一斉に10分間読書を実施している。読んだページを記録し、毎月の図書室だよりで紹介している。



### (2)魅力ある図書室づくり(平成14年～)

本校の図書室は施錠せず常時開放している。畳コーナーやパソコンを設置し、学習内容に応じて古典・英語・進路のコーナーを特設し、多くの花鉢を置き、明るく利用しやすい魅力ある図書室づくりに努めている。総合的な学習の時間の個人課題調査や、各委員会活動・自主学習の場等、生徒が気軽に利用している。



### (3)「心の虹」交流(平成14年～)

山間の小さな中学校から日本全国へと読書交流を発信させようという夢を持ち、毎年1校ずつの同規模中学校と読書による交流を実施している。

生徒が感銘を受けた本の紹介を中心に、熊本・沖縄・石川県と交流を深めてきた。今年は県内の熊谷市立小島中学校と交流中である。

## 3 県立図書館、市立図書館との連携

(平成13年～)

学区内には公共図書館や書店がないため、県立熊谷図書館の移動図書巡回訪問を依頼し、訪問日には25分間の利用タイムを確保した。本年度から秩父市合併に伴い市立図書館に移行。毎回リクエスト本も届けられ、訪問日を楽しみにしている。



## 4 成果と今後の課題

本年度、社会貢献支援財団の「こども読書推進賞奨励賞」(全国7件)を受賞し、読書推進の大きな励みとなった。今後は「読書の質の向上」が課題である。